

クレディ・スイス、岩佐博明氏を シニアエグゼクティブに任命

東京、2020年10月1日 – クレディ・スイスは本日、クレディ・スイス証券会社ソリューション本部シニアエグゼクティブに岩佐博明氏が就任したことを発表しました。

岩佐氏は20年余りにわたる金融業界での経験を有し、日本の株式市場を中心として、セールス、ディーリング、市場分析での幅広い知識と経験を生かして活躍してきました。今後は、シニアリレーションシップマネージャーとしてその知見と人脈を生かし、主に大手金融機関へのカバレッジ体制強化と、ソリューションビジネスのさらなる拡大の一翼を担うこととなります。岩佐氏は同本部共同本部長 営業統括部長の笹井智行にレポートします。

岩佐氏は大学卒業後にチェース・マンハッタン銀行でキャリアをスタートして以来、日興シティグループ証券、ドイツ証券、BNPパリバ証券を経て、国内外を問わず株式関連のソリューションビジネスに主に従事するのみならず、投資信託、オルタナティブ投資、定量的投資戦略(QIS: Quantitative Investment Strategies)、担保トレーディング等多岐にわたるビジネスに携わってきました。また、大手金融機関、地域金融機関、運用会社、事業法人等の幅広い業種のお客様にサービスを提供し、強い顧客基盤を有しています。直近のBNPパリバ証券では、派生商品機関投資家営業部 部長を務めていました。

ソリューション本部共同本部長 営業統括部長の笹井智行は次のように述べています。

「岩佐氏のこの度の就任を大変光栄に思います。マイナス金利政策の長期化、金融機関に対する更なる資本規制強化等、国内金融機関経営を取り巻く環境は厳しいものの、それ故に各社の財務や運用戦略に向けた問題解決へのニーズはさらに高まることが予想されます。当社は金融機関の皆様へのニーズに応える様々なソリューションを提供すべく、カバレッジの体制強化を図っています。特に株式市場に対する高い見識を持ち、様々な金融機関とのお客様との長きにわたるリレーションシップを築いてきた岩佐氏の参画により、その知見と専門性が当社ソリューションビジネスのさらなる拡大に寄与することと確信しています。」

2017年に債券本部と株式デリバティブ本部の統合により発足したソリューション本部では、円債から外債までの幅広い債券のマーケットメイク業務や、金利・為替・クレジット・株式等幅広い資産に連動したストラクチャード・プロダクトの開発、また個人向け・機関投資家向けの投資信託や、貯蓄性保険商品に関連した再保険ソリューション等、多岐にわたるプロダクト、ソリューションをワンストップで提供しています。これまでも、日本のお客様向けに数多くの画期的で革新的な案件を手掛けており、アジア有

数の金融専門誌であるアジア・リスクが主催する Asia Risk Awards 2020 において「Derivatives House of the Year Japan」、 「Equity Derivatives House of the Year」 ならびに「Credit Derivatives House of the Year」 を受賞しています。

メディアからのお問い合わせ先：

クレディ・スイス 広報

能田映子 eiko.noda@credit-suisse.com, +81 3 4550 7054

クレアブ株式会社（クレディ・スイス広報代理）

恵木 マイケル倫太郎 credit-suisse-pr@kreab.com, +81 90 6486 7191

アジア太平洋地域におけるクレディ・スイスの最新情報はこちらから：

LinkedIn <https://www.linkedin.com/company/credit-suisse/>

Facebook <https://www.facebook.com/creditsuisse/>

Twitter @csapac

Credit Suisse AG

クレディ・スイス AG は、世界有数の金融機関であり、クレディ・スイス・グループ（以下「クレディ・スイス」）の子会社の1つです。クレディ・スイスの戦略は世界屈指のウェルス・マネージャー、専門的なインベストメント・バンキング能力、母国スイスでの強力な存在感という強みの上に成り立っています。ウェルスマネジメントに対してバランスの取れたアプローチで臨み、成熟市場の多額の資産プールと、アジア太平洋地域とその他の新興国市場における資産の大幅な拡大を活用しつつ、スイスを中心に主要先進国にもサービスを提供しています。クレディ・スイスは、約48,800人¹の従業員を擁しています。親会社クレディ・スイス・グループ AG の株式（CSGN）はスイスおよび米国預託証券（CS）としてニューヨークで上場しています。詳細は[こちら](#)をご覧ください。

www.credit-suisse.com

¹ 2020 年第 2 四半期末時点